

お客様  
への責任

# 製品の安定供給

デジタル化・ネットワーク化を背景に高まる製品需要に応える  
グローバルサプライチェーンの強化に努めています。

## 製品の安定供給の考え方

カシオは、経営理念「創造 貢献」の下、カシオの独創的製品を通じてお客様に喜びと感動をお届けすることをミッションとしています。このために製品の安定供給は必須事項であり、以下の方針を掲げています。

### 製品安定供給の方針

- ① ITを駆使したサプライチェーン(部材調達～生産～物流～販売～サービス)の合理化による生産リードタイムの短縮と計画実行精度の向上
- ② 安定した材料調達の為に必要な部材供給各協力企業との良好な協力関係構築
- ③ 生産活動における様々なリスク要因への備えとしての2拠点分散生産体制とグループ工場の複数品目対応化によるリスク対応への柔軟性の維持
- ④ 商品別に地域特性(市場近接性、技術力、部材調達環境、人件費、物流費、為替リスク)に応じた最適な生産分業の体制の構築

## 生産品質の強化の取り組み

カシオは、商品を高品質(かつ低コスト)でお客様へお届けするため、生産現場での造り込み品質の向上を重視しており、不良品を「造れない」「後工程へ流せない」生産現場を基本思想として日々の生産改善活動を行っています。その活動結果は、「生産改善事例集」として世界中の各製造現場に紹介され、改善ノウハウの共有化による作業品質の向上に役立っています。

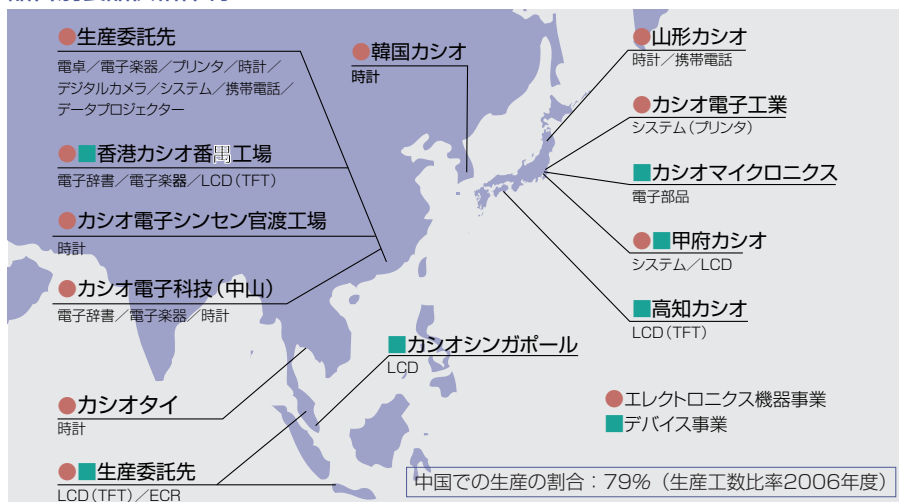
## 製品の生産体制強化の実績と計画

2005年に新設したカシオ電子科技中山において電子辞書と電子楽器の生産を開始し、旧来の2工場を閉鎖しましたが、2006年は更に広州カシオを閉鎖し、カシオ電子科技中山で電子腕時計の生産を2007年春から開始しました。これにより華南地域では、5工場を3工場に体制集約し、同時に工場運営の標準化もできつつあります。今後更に華南地域内の工場管理機能の効率化と一工場あたりの事業規模の適正化を推し進め、全体生産性の向上と工場運営の標準化によるリスク対応のスピードアップを目指していきます。

また経済発展と共に益々加速する中国生産のコスト上昇に対し、ASEANを含めた東アジア全体でのコスト上昇ヘッジ体制を強化する必要があり、並行して取り組みます。

一方、モノづくりの現場においても大きな変革が求められています。これまでは、低労務費に依存した大量生産型の現場でした。今後は、市場の動きに機敏に追随しながら、品質や効率を落とす事なく生産品種の切り替えを素早く行える、コンパクトでフレキシブルな生産現場が求められてきています。サプライチェーンコントロールの強化、生産技術と商品設計の機能連携の強化で、生産現場に対するこれらの要求を満たし、お客様のご安心とご満足を獲得していかなくてはなりません。この姿を実現する事で、突発的危機に対する生産現場の回復力を国や地域を問わずに強化し、事業の持続可能性を向上させる事ができます。また、これにより無駄な製品在庫を減らす事ができ、原価率低減の効果も出せます。これらの効果を狙い、各機能の強化と効率化を図っていきます。

## 品目別製品供給体制



カシオタイにおける省力化ライン